

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会

目 次

事 業 報 告

1	総 括	1
2	会務の運営	2
3	会員募集と啓発事業	5
4	地区社協・地域福祉活動推進事業	7
5	ボランティア活動推進事業	10
6	共同募金配分事業	18
7	放課後児童クラブ事業	20
8	子育てサポートプラザ事業	22
9	ファミリー・サポート・センター事業	29
10	高齢者福祉事業	31
11	老人居宅介護等事業	32
12	高齢者自立支援事業	33
13	障害福祉サービス事業	34
14	障害者相談支援事業	35
15	手話通訳者派遣事業	38
16	障害者居宅サービス技術援助事業	39
17	福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）	40
18	生活福祉資金貸付事業	42
19	青木会館事業	43
20	やすらぎ会館事業	44
21	住民参加型福祉サービス事業	44
22	交通遺児育英事業	47
23	居宅介護支援事業	48
24	地域包括支援センター	48
25	成年後見センター	51
26	生活困窮者自立相談支援事業	55
27	生活支援体制整備事業	58
28	収益事業	59

事業報告

1 総括

超少子高齢社会の進展に伴い全国で地域包括ケアシステムの構築が進められている間にも、様々な生活福祉問題が深刻さを増し、全世代型の包括的な支援体制が求められています。

こうしたなか、本会では、行政や地域住民、ボランティア、福祉関係機関・団体など一体となって、より一層の連携と地域づくりに重点を置き、「誰もがあんしんして暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、「第2次社協強化計画の推進」「地域福祉活動・ボランティア活動の推進」「生活支援体制整備事業の推進」「相談支援の連携強化」「社協組織基盤の強化」の5つの重点目標を柱として、地域福祉の推進強化につながる取り組みを行いました。

「1. 第2次社協強化計画の推進」については、「小地域福祉活動を中心に多様なネットワークを組み、地域ニーズに寄り添う社協」という経営ビジョンを実現すべく、事業・組織・財政の3つの重点項目を軸に、より具体的にそれぞれの強化項目を明確に設定したうえで、それに沿って職員育成やPRの強化、事業の積極的な見直しによる収支バランスの改善に努めました。

「2. 地域福祉活動・ボランティア活動の推進」については、次期かわぐち市民活動プランの策定に向けて、今後目指すべき地域福祉の方向性についての検討を深め、重点目標等を定めたほか、こども食堂などの先駆的なボランティア活動に対する伴走型の支援や、社会福祉施設等との連携による居場所づくりなど、従来の枠組みにとらわれない活動を展開しました。また、災害ボランティア登録者の増強および資質の向上にも努め、強化を図りました。

「3. 生活支援体制整備事業の推進」については、地区担当職員と協力し、地区ごとの地域特性を把握し、市内全域の地域課題集約を行うとともに、行政や地域包括支援センターと協力して、市民や関係機関に向けて本事業の普及啓発に努めました。

「4. 相談支援の連携強化」については、生活困窮や権利擁護をはじめとする幅広い分野での相談に対応し、社協として総合的・横断的に取り組みました。また、相談内容や世帯構成等が複雑化しているなか、他機関との連携が不可欠なため、情報交換会や会議などを通じて連携の強化を図りました。

「5. 社協組織基盤の強化」については、社会福祉法人制度改革に伴い、社会福祉法改正に準拠して、組織の体制強化、透明性の確保など、さらなる基盤強化を図りました。

2 会務の運営

(1) 理事会の開催

①第1回理事会

平成29年 5月23日(火) 出席者 理事12人 監事2人

議案第1号 平成28年度社会福祉事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第2号 平成28年度公益事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第3号 経理規程の一部改正について

議案第4号 平成28年度事業報告について

議案第5号 平成28年度収支決算報告について

議案第6号 会長及び川口市長間の同一名義での契約等について

議案第7号 平成29年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集について

②第2回理事会

平成29年 6月27日(火) 出席者 理事13人 監事2人

議案第8号 会長の選任について

議案第9号 副会長の選任について

議案第10号 常務理事(業務執行理事)の選任について

議案第11号 職員給与規程の一部改正について

③第3回理事会

平成29年10月 6日(金) 出席者 理事14人 監事2人

議案第12号 育児・介護休業に関する規程の一部改正の専決処分の承認について

議案第13号 定款細則の変更について

議案第14号 福祉基金設置規程の一部改正について

議案第15号 青少年ボランティア基金設置規程の一部改正について

議案第16号 経理規程の一部改正について

議案第17号 評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について

議案第18号 平成29年度第2回評議員会の招集について

④理事会(会議省略)

平成30年 1月 9日(火) 同意者 理事14人 監事2人(各全員)

議案第19号 職員給与規程の一部改正について

⑤理事会（会議省略）

平成30年 2月26日（月） 同意者 理事14人 監事2人（各全員）

議案第20号 平成30年度青木会館総合管理業務の委託に係る指名競争入札について

⑥第4回理事会

平成30年 3月13日（火） 出席者 理事13人 監事1人

議案第21号 平成29年度社会福祉事業区分補正予算について

議案第22号 住民参加型福祉サービス事業の改正に係る専決処分の承認について

議案第23号 収益事業の改廃について

議案第24号 定款の一部変更について

議案第25号 経理規程の一部改正について

議案第26号 職員退職金支給規程の一部改正について

議案第27号 個人情報保護規程の改正について

議案第28号 平成30年度事業計画及び収支予算について

議案第29号 会長及び川口市長間の同一名義での契約等について

議案第30号 平成29年度第3回評議員会の招集について

⑦理事会（会議省略）

平成30年 3月23日（金） 同意者 理事14人 監事2人（各全員）

議案第31号 指名競争入札による平成30年度青木会館総合管理業務委託契約の締結について

（2）評議員会の開催

①第1回評議員会（定時評議員会）

平成29年 6月21日（水） 出席者 評議員35人 理事1人 監事1人

議案第1号 平成28年度社会福祉事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第2号 平成28年度公益事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第3号 経理規程の一部改正について

議案第4号 平成28年度事業報告について

議案第5号 平成28年度収支決算報告について

議案第6号 理事及び監事の選任について

②第2回評議員会

平成29年11月29日（水） 出席者 評議員37人 理事1人

※報告事項のみ

③第3回評議員会

平成30年 3月27日(火) 出席者 評議員36人 理事1人

議案第7号 平成29年度社会福祉事業区分補正予算について

議案第8号 住民参加型福祉サービス事業の改正に係る専決処分の承認について

議案第9号 収益事業の改廃について

議案第10号 定款の一部変更について

議案第11号 平成30年度事業計画及び収支予算について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

平成29年度評議員選任・解任委員会 平成29年10月26日(木) 出席者 4人

社会福祉法人川口市社会福祉協議会評議員の選任について

(4) 地域福祉推進委員会の開催

①委員会の開催

・平成29年 9月12日(火) 出席者 12人

・平成30年 2月27日(火) 出席者 10人

②障害福祉活動支援助成金の交付

財団法人長谷川身体障害者福祉財団の寄附金を原資に、市内障害者施設及び団体への支援を目的とする障害福祉活動支援助成金の審査を行い、交付した。

	助成施設・団体名	助成内容	助成額(円)
備品購入	特定非営利活動法人友垣の里 就労継続支援B型友垣の里	作業台の購入	100,000
	カフェ&ふれあいショップ ふらっと運営委員会	ノートパソコン、 電動コーヒーミルの購入	100,000
社会福祉事業	川口市聴力障害者協会	中途失聴・難聴者対象 手話教室の開催	6,000
合 計			206,000

3 会員募集と啓発事業

(1) 会員募集活動

幅広い市民の参加と協力を基盤とした社協運営を図るため会員制度を実施し、各会員の加入促進を図りながら募集活動を行った。

会員種別	会費（1口）（円）	会員数（件）	口数（口）	金額（円）
個人会員	1,000	16,121	16,648	16,648,600
賛助会員	5,000	294	538	2,690,000
施設・団体会員	2,000	55	119	238,000
合 計				19,576,600

※個人会員の金額は、端数の600円（600円×1件）を含む。

※個人会員会費と賛助会員会費の50%は、会員の居住地（所在地）の地区社会福祉協議会の福祉活動費として交付した。（交付額についてはP7を参照）

(2) 広報誌の発行

・「社協だより」 776,000部（年4回 季刊発行）

(3) ホームページの公開及びSNS（Twitter）による福祉情報等の発信

①ホームページ閲覧数 22,832件（開設時からの通算閲覧数：260,680件）

②Twitterによる情報発信（平成30年1月開設）

ツイート数 44回 フォロワー数 53件

4 地区社協・地域福祉活動推進事業

(1) 地区社会福祉協議会連絡協議会の開催

- ・平成29年 6月29日(木) 出席者 19人
- ・平成29年10月27日(金) 出席者 17人
- ・平成30年 1月26日(金) 出席者 18人
- ・平成30年 3月14日(水) 出席者 17人

(2) 地区社協活動交付金の交付

地区社会福祉協議会に対し、下表の内訳のとおり地区社協活動交付金を交付した。

単位：円

内 訳		第1期 (6月)	第2期 (9月)	第3期 (1月)	追加分	合計
A	平成29年度に地区 で取りまとめた 個人会員会費・賛助 会員会費の50%	5,440,300	3,533,000	472,000	62,500	9,507,800
B	平成28年度に地区 で取りまとめた 赤い羽根共同募金 実績額の39.5%	12,697,000	0	0	0	12,697,000
C	全地区一律交付 (15万円/地区)	2,850,000	0	0	0	2,850,000
合 計		20,987,300	3,533,000	472,000	62,500	25,054,800

※Aは第1期に5月までの実績分を、第2期は6月から8月の実績分を、第3期は9月から12月の実績分を交付した。(1月以降の実績は、随時追加分として交付)

※B・Cは第1期に全額を交付。

(3) 川口市地域福祉活動計画「かわぐち市民活動プラン」の推進・進行管理

①かわぐち市民活動プラン推進委員会の運営

かわぐち市民活動プランの推進状況に関する確認・評価と提言などを行う、かわぐち市民活動プラン推進委員会の運営を行った。

- ・平成29年 7月20日(木) 出席者 11人
- ・平成29年11月17日(金) 出席者 9人
- ・平成30年 3月23日(金) 出席者 10人

②地域福祉推進員制度の拡充

地域の多様な人材の発掘及び活用を図り、地域と密着して計画を推進する地域福祉推進員の配置を進めるとともに、その活動の支援を行った。

ア 地域福祉推進員数

19地区 計151人（平成30年3月31日現在）

イ 平成29年度地域福祉推進員研修会

開催日	内容	参加者数(人)
平成29年9月8日	「いま求められる地域診断～地域課題の把握に向けて～」	124

※参加者数には地区社協会長等を含む

③地域福祉活動に対する助成

かわぐち市民活動プラン推進委員会で審査を行い、下記の2種の助成金を交付した。

ア ふくしのまちづくり助成金

新規事業コース、拡充事業コース、サロン活動コースの3つの助成コースを設け、地域活動団体によるかわぐち市民活動プランの活動計画に関わる事業及び他の地域福祉推進に有意な事業に対して助成金を交付した。

コース	助成団体	助成事業	助成額 (円)
新 規	わいわいネットワーク鳩ヶ谷	わいわい食堂	198,000
	川口ボッチャクラブ「サンシャイン」	ボッチャを通じた地域交流活動	107,000
拡 充	ふれあい農園サポーター	ふれあい農園	70,000
	子ども広場「エンジ」	子どもの居場所づくり・学習支援	100,000
	ぷっち・エスポワールクラブ	知的障害児とその家族を対象とした水泳クラブ	68,000
	かわぐち子どものための日本語教室	帰国子女・外国籍児童・生徒及び既卒者への日本語学習支援と進学支援	25,000
	鳩ヶ谷奇術愛好会	イベント交流事業	40,000
	ココカラ いま・みらい	親子でいのちと未来を感じる講座	42,000
	プレゼンス	川口こども食堂	100,000
	シブスマイル	障害児の兄弟・姉妹の仲間づくり	28,000
サロン改修	特定非営利活動法人 SCORE	サロン HaiHaiRoom	260,000
サロン新規	十二月田しあわせクラブ	十二月田しあわせサロン	60,000
サロン継続	川口市健康生きがいがづくりアドバイザー協議会	朝日さわやかサロン	40,000
	あみあみカフェクラブ ～編み物で人と人とのつながりを～	あみあみサロン	40,000
	領家公民館カラオケサロン倶楽部	カラオケサロン	40,000
	ひよこクラブぷち	ひよこクラブぷち	40,000
	芝西ひだまりサロン	芝西ひだまりサロン	40,000
	学園台お茶会	学園台お茶会	28,000
	芝園かけはしプロジェクト	芝園サロン	5,463
	NPO 法人親子サロン mano&mano	ベビーズ	40,000
	芝富士ふれあいいいきいきサロン	芝富士ふれあいいいきいきサロン	13,000
	ゆうゆう喫茶実行委員会	ゆうゆう喫茶	40,000
	ゆうゆうサロンみちにし	ゆうゆうサロンみちにし	32,000
合 計			1,456,463

イ かわぐち市民活動プラン助成金

地区社会福祉協議会が行うかわぐち市民活動プランの地区活動計画に基づく事業に対して助成金を交付した。

助成団体	助成事業	助成額（円）
神根地区社会福祉協議会	神根地区社協 ふくし講座	34,000
鳩ヶ谷地区社会福祉協議会	鳩ヶ谷地区ふくしネットワーク事業	197,000
朝日地区社会福祉協議会	朝日地区子育て支援事業	140,000
合 計		371,000

④こども食堂実施団体への支援

社会的孤立の防止を目的に、市内で活動を行うこども食堂実施団体（9団体）が集う情報交換の場を3回提供したほか、運営に関する相談やボランティア希望者の仲介等、活動の支援を行った。

5 ボランティア活動推進事業

市民のボランティア活動に対する関心と理解を深め、広く活動に参画するよう支援し、魅力ある福祉のまちづくりを推進するため、ボランティアセンターを拠点としてボランティア活動推進事業を実施した。

(1) ボランティアセンターの運営

①かわぐちボランティアセンター運営スタッフ委員会の開催

- ・平成29年 4月19日（水） 出席者 8人
- ・平成29年 6月29日（木） 出席者 7人
- ・平成29年 8月30日（水） 出席者 8人
- ・平成29年11月 8日（水） 出席者 6人
- ・平成30年 3月 7日（水） 出席者 9人

②ボランティア育成・啓発

ボランティアの育成・啓発・フォローアップを目的に講座を開催した。

開催日	内 容	参加者延数 (人)
平成 29 年 9 月 7 日～ 9 月 21 日	ボランティア入門講座 【全 3 回】	34
平成 29 年 11 月 25 日～12 月 9 日	ボランティア大学 「まずは声かけから～支え合いのまちづくり のためにできること～」 【全 3 回】	47
平成 30 年 2 月 27 日	ステップアップ講座	19

③ふれあいいいききサロン

高齢者や障がい者、地域住民等、誰でも自由に参加できる場所を提供し、ボランティア活動を通して社会参加を促すことを目的に開催した。

(毎月第 4 木曜日 10 時～12 時)

場 所	開催回数 (回)	参加者数 (人)
かわぐち市民パートナーステーション会議室	12	138

④ボランティア相談

ボランティアコーディネーターが、ボランティア相談を行った。

相 談 場 所	相 談 日	開催日数 (日)
かわぐちボランティアセンター	毎週 火～日曜日	296

- ・ボランティア相談 359 件 (その他の相談 2, 238 件)
- ・ボランティア依頼 125 件 (うち紹介 81 件)

⑤ボランティアセンター利用状況

- ・登録ボランティア数 (個人) 77 人
- ・登録ボランティア数 (団体) 213 団体
- ・部 屋 利 用 件 数 (人数) 青木ボランティアルーム 117 件 (649 人)
鳩ヶ谷ボランティアルーム 57 件 (272 人)

⑥ボランティア保険

ボランティア活動中の様々な事故によるけがや賠償責任を補償することを目的に、ボランティア保険の加入手続き等を行った。

- ・ボランティア活動保険 4,743 人
- ・ボランティア行事用保険 255 件 27,087 人
- ・事 故 報 告 20 件

⑦ボランティアの連携・ネットワーク支援

ア 福祉施設・病院・特別支援学校のボランティア担当者連絡会議

- ・開催日 平成30年 2月 9日(金)
- ・内容 ○事例発表①『地域を巻きこもう！地域開放の取り組み～社会貢献の試行～』
社会福祉法人末広会 特別養護老人ホーム 第2春香苑
理事兼施設長 山本 明美 氏
川口市社会福祉協議会 地域福祉課職員
- 事例発表② 『ボランティア活動実践者の立場から伝えたいこと』
慈しみの会 堀和 光二郎 氏
個人登録ボランティア 大野澤 昌子 氏
- 交流会
- ・参加者 19施設23人

イ 養成講座修了後の団体化支援、フォローアップ

- ・傾聴ボランティア団体リーダー会議を前身とした団体、傾聴ボラ「わ」の定例会への参加回数 6回

ウ 川口市ボランティア団体連絡協議会に対する協力

(2) 福祉教育の推進

①ボランティアマインド推進校指定事業

ボランティアマインドの育成を図ることを目的に、市内の学校に対して助成金を交付した。

- ・指定学校数 小学校 28校 中学校 4校 計 32校
- ・助成金額 587,868円

②学校福祉体験授業への協力

ア ボランティア学習・福祉教育情報連絡会議

川口市教育局との共催により市内の小・中・高等学校の福祉教育担当教諭を対象とした会議を開催した。

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 29 年 6 月 1 日	○議 題 ・平成 29 年度ボランティア・福祉教育における方向性について ・講義「学校教育から共生社会の在り方を考える」 講師：社会福祉法人めだかすとりいむ 理事長 山下 敏夫 氏 ・川口市社会福祉協議会が協力できること ・ボランティアマインド推進校指定事業について ・質疑応答	・学校教諭 56 内訳) 小学校 44 校 44 人 中学校 11 校 11 人 高等学校 1 校 1 人 ・福祉教育推進員 14 計 70
平成 30 年 2 月 20 日	○議 題 ・平成 29 年度福祉教育対応状況について ・平成 30 年度ボランティア・福祉教育における方向性について ○事例発表 ・福祉教育担当教諭から(領家小学校・安行東中学校) ○講義「学校教育から共生社会の在り方を考える」 講師：社会福祉法人めだかすとりいむ 施設長 山下 朋和 氏	・学校教諭 27 内訳) 小学校 21 校 21 人 中学校 6 校 6 人 ・福祉教育推進員 9 計 36

イ 福祉教育推進員制度

市内の各校において福祉体験学習への指導・実施協力を行う福祉教育推進員は4月より委嘱から登録制度に変更し、28人が登録した。

- ・福祉教育推進員定例会 12回開催 参加者延数 213人
- ・ボランティア学習・福祉教育情報連絡会議の協力

ウ 福祉体験学習への協力・援助

市内小・中・高等学校の総合的学習の時間や地域などで行う福祉体験(車いす・アイマスク・高齢者疑似体験、当事者講演など)の実施協力と援助を福祉教育推進員とボランティア団体で行った。

- ・福祉体験学習に関する相談・体験実施延数

種 別	依頼件数(件)	実施件数(件)	参加体験者数(人)
学 校	77	77	7,534
地域・企業等	地域 3	地域 3	地域 45

・福祉体験への協力・援助活動回数

福祉教育推進員（回）	ボランティア・当事者団体（回）	当事者（回）
35 (活動延人数 265人)	38 (活動団体数 4団体)	7 (活動人数 2人)

・学校や団体等への備品貸し出し延数

車いす	420台	アイマスク	1,099枚
疑似体験用ベスト	415着	点字器	859器
手首・足首おもり	378個	白杖	71本
ひじ・ひざサポーター	802個	視覚障害者体験セット	3個

(3) 青少年ボランティア育成委員会及びボランティア見本市実行委員会の運営・事業実施（市民と川口市協働推進課との協働事業）

① 青少年ボランティア育成委員会及び青少年ボランティア育成事業

川口市社協（かわぐちボランティアセンター）と川口市（協働推進課）と市民の3者協働で「青少年ボランティア育成委員会」を設立し、次代を担う子どもたちのボランティアマインドの向上を目的に各種事業を実施した。

ア 青少年ボランティア育成委員会 4回開催

イ ボランティアスクール（彩の国ボランティア体験プログラム合同実施）

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 29 年 7月 21 日～8月 13 日	○青少年ボランティアスクール 中学・高校・専門・大学生など 25 歳以下の青少年を対象とした、施設・団体でのボランティア体験（68 コース）	486
平成 29 年 7月 22 日～29 日	○夏休みこどもボランティアサロン 小学生を対象とした、ボランティア団体でのボランティア体験（5 プログラム）	136
平成 29 年 8月 28 日	○川口市青少年ボランティア大会 青少年ボランティアスクールの修了式を行い、夏休みのボランティア体験を総括した。	464

ウ 通年ボランティア事業の実施

中学生以上を対象に、青少年ボランティア c a f e を開催した。

- ・開催日 平成 29 年 12 月 17 日（日） 参加者数 8 人
平成 30 年 2 月 4 日（日） 参加者数 12 人
- ・テーマ 「かるたで日本の良さを伝える！」
- ・内 容 かるたの作成・体験・交流

②ボランティア見本市

ボランティア団体が一堂に会し、それぞれの団体が活動の紹介とアピールを行うことで、市民のボランティア活動に対する関心の増進と参加のきっかけになるよう、市民によるボランティア見本市実行委員会を中心に、川口市社協（かわぐちボランティアセンター）と川口市（協働推進課）が協働して実施した。

開催日	「川口市民ボランティアの日（10月の第3日曜日）」 平成29年10月15日（日） 10時～12時 ※15時まで開催予定だったが、荒天のため繰り上げ終了となった。
来場者延数	9,000人
内容	1 ふれあいステージ 2 ボランティア体験プログラム 3 クイズラリー 4 ボランティアブース 5 ボランティアの花 6 盲導犬体験 7 アイマスク体験 8 社協PRコーナー 9 来場者シール
参加団体	1 ボランティアブース（57団体） 2 ふれあいステージ（6団体） 3 ボランティア体験コーナー（7団体）

（4）青少年ボランティア育成委員会への助成

青少年ボランティア育成委員会に対し、青少年ボランティアの育成を目的とした総合的な事業を実施するための助成金を交付した。

・助成金額 529,326円

（5）ボランティアに関する広報・情報発信

①情報紙「ぼらんていあ川口」の発行 6,000部（4回発行）

市内の学校、支所、公民館、登録ボランティア、福祉協力店、施設などへ配布した。

②ボランティアセンターホームページ

ボランティア募集や講座、イベント、助成金情報、登録団体の紹介などの情報を発信した。

(6) 災害ボランティアセンターに関すること

①災害ボランティア登録者の養成

被災時でも災害ボランティアセンターを円滑に開設・運営できる体制作りを進めるため、登録者の養成講座を2日間実施し、講座修了者のうち13人が登録した。

- ・災害ボランティア登録者数 66人

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 30 年 1 月 20 日	○講 義 「川口市における防災について」 講師：川口市危機管理部防災課 「災害ボランティアとボランティアセンターについて」 講師：川口市社会福祉協議会地域福祉課職員	14
1 月 27 日	○実地訓練 「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」 協力：特定非営利活動法人川口市市民防災ボランティアネットワーク 川口市市民生活部 協働推進課 川口市社会福祉協議会災害ボランティア登録者	49

②災害ボランティア登録者のフォローアップ講座

被災時に円滑かつ迅速に災害ボランティアセンターを設置・運営し、柔軟な活動や対応ができるよう知識を深めるとともに、登録者同士のネットワーク形成・相互理解を図ることを目的に講座を実施した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 9 月 9 日	○講 義 「災害ボランティア活動前に必要な基礎知識について」 講師：埼玉県社会福祉協議会	19

③「みんなで防ごう！守ろう！防災講習会」

男女共同参画及び外国住民の視点に立った地域防災に加え、今年度は災害ボランティアの視点を取り入れた防災講習会を川口市と共催し、市民の防災意識の向上と、対策についての必要性の理解促進を図った。

- ・開催日 平成29年10月 7日 (土)
- ・場 所 かわぐち市民パートナーステーション
- ・内 容 川口市危機管理部防災課の講義と防災カードゲーム「クロスロード」等
- ・参加者 80人

(7) 障がい者の社会参加促進を目的とした、障がい者と市民の交流の場の提供及び自立の支援
 障がい者と市民の交流促進と障がい者の自立支援を目的とする市内障害者施設・団体とボランティアによる協働事業である「カフェ&ふれあいショップふらっと」を支援し、喫茶コーナーや参加施設・団体の製作物品の展示・販売など運営の円滑化・適正化に協力した。

①業務内容

・場 所	キュポ・ラ本館棟5階中央図書館内		
・営業日数	271日（月曜日、第3金曜日、年末年始を除く）		
・参加施設数	障害者施設：14施設		
・登録ボランティア数	37人		
・年間ボランティア活動人数	延1,477人		
・取扱額	喫 茶 部 門	3,359,330円	
	展示販売部門	3,621,243円	
	合 計	6,980,573円	

②委員会等の開催

・カフェ&ふれあいショップふらっと運営委員会	6回
・カフェ&ふれあいショップふらっと実行委員会	12回

③ワークショップイベント

・日 時	平成29年 8月23日（水）
・場 所	キュポ・ラ本館棟M4階 かわぐち市民パートナーステーション各会議室
・体験者数	254人

④施設利用者の社会参加

施設利用者の社会参加の場として、ふらっと喫茶コーナーで体験実習を行った。

・実施回数	1回
・参加者数	1人
・参加施設	さんさんさくら

6 共同募金配分事業

平成28年度赤い羽根共同募金及び平成29年度地域歳末たすけあい運動の募金実績に基づく配分金により、配分事業を実施した。

(1) 赤い羽根共同募金による事業

地区社協活動等助成事業など

事業等名称	金額(円)	備考
地区社協活動交付金(※再掲)	12,697,000	地域福祉活動の支援・強化(19地区社協)
ボランティア活動普及啓発事業交付金	180,000	ボランティア見本市
合計	12,877,000	

(2) 地域歳末たすけあい募金による事業

①地区社協に対する配分金の交付

地区社協に対し、歳末の各種世帯の支援やサロン活動などの福祉事業費として、地区における地域歳末たすけあい募金の実績に応じた歳末配分金を交付した。(計9,376,535円)

②川口市社協による事業(歳末たすけあい事業)

- ・在宅単身の88歳以上のかたで、同一町会に親族等身寄りのないかたへ、お正月向けの品物(銀座文明堂さんどら)を贈呈した。
- ・食事の支度ができず、家族などからの支援も困難なかたに、有料で栄養バランスがとれた昼食の配食を、安否確認も兼ねて年末年始に実施した。

	品物の贈呈(人)	配食サービス(人)
実績数	208	183

(3) 埼玉県共同募金会川口市支会(平成29年度募金実績)

町会、各種団体、法人及び市民の協力を得て、共同募金運動を実施した。

①赤い羽根共同募金

- ・実施期間 平成29年10月1日～平成29年12月31日
※埼玉県共同募金会が定める実施期間は平成30年3月31日まで
- ・実績額 33,845,350円

②地域歳末たすけあい募金

- ・実施期間 平成29年12月1日～平成29年12月31日
- ・実績額 10,352,737円

③災害たすけあい義援金

中央共同募金会及び被災地の共同募金会による義援金の開設にしたがって、周知と受付を行った。

ア 平成28年熊本地震義援金	義援金額	500円
イ 平成29年7月5日からの大雨災害義援金（福岡県）	義援金額	132,632円
ウ 大分県豪雨災害義援金	義援金額	20,000円
エ 平成29年7月5日からの大雨災害義援金（中央共募）	義援金額	7,422円

7 放課後児童クラブ事業

(1) 次の25校の支援事業を実施した。

放課後児童クラブ職員 177 人 (支援員 96 人・補助員 81 人)

	クラブ名	在籍延児童数(人)									出席延児童数(人)			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	月平均	平日	1日平均 (平日)	学校 休業日	1日平均 (学校休業日)
1	幸町小	487	393	305	159	112	12	5	1,473	123	12,593	65	3,650	37
2	仲町小	534	396	183	87	53	1	0	1,254	105	11,651	60	3,123	32
3	元郷小	455	387	211	183	40	6	87	1,369	114	13,829	71	3,649	37
4	青木北小	330	309	341	163	32	14	84	1,273	106	13,078	67	3,563	36
5	十二月田小	699	701	459	336	64	43	0	2,302	192	21,075	108	5,217	53
6	神根東小	187	198	95	124	12	30	0	646	54	6,816	35	1,586	16
7	本町小	562	463	489	278	165	67	0	2,024	169	19,437	100	4,028	41
8	芝富士小	188	71	106	52	17	0	0	434	36	3,757	19	1,097	11
9	芝中央小	210	239	156	83	53	5	0	746	62	7,303	37	1,807	18
10	差間小	528	397	200	128	18	1	15	1,287	107	12,708	65	3,180	32
11	上青木南小	250	323	166	136	21	23	0	919	77	7,625	39	2,174	22
12	在家小	283	336	172	97	45	7	0	940	78	9,170	47	2,224	23
13	戸塚東小	441	494	308	80	56	0	123	1,502	125	15,144	78	3,418	35
14	安行東小	579	669	255	205	165	49	0	1,922	160	19,656	101	4,418	45
15	慈林小	315	303	221	137	70	63	0	1,109	92	8,711	45	2,541	26
16	飯塚小	489	318	169	224	23	0	0	1,223	102	9,225	47	2,357	24
17	新郷東小	285	324	216	101	17	6	0	949	79	8,450	43	2,220	23
18	戸塚北小	580	585	350	201	54	4	0	1,774	148	17,286	89	4,259	43
19	木曾呂小	681	509	276	226	69	6	0	1,767	147	16,674	86	4,104	42
20	飯仲小	457	466	352	35	20	3	12	1,345	112	13,780	71	3,048	31
21	芝西小	557	362	284	54	36	2	0	1,295	108	11,785	60	2,782	28
22	朝日西小	181	130	152	80	47	12	0	602	50	5,071	26	1,392	14
23	新郷南小	253	314	246	103	40	4	12	972	81	9,254	47	2,974	30
24	原町小	244	183	138	49	18	13	0	645	54	5,907	30	1,405	14
25	上青木小	481	318	246	133	37	0	0	1,215	101	11,022	57	2,585	26
	合計	10,256	9,188	6,096	3,454	1,284	371	338	30,987	2,582	291,007	1,492	72,801	743

(2) 放課後児童クラブ開室日数

・ 293日 (平日 195日 学校休業日 98日)

(3) 放課後児童クラブ支援員研修会

放課後児童クラブ支援員に対し、質の高い支援を目指すため研修会を開催した。

開催日	内 容	場 所	参加者数 (人)
平成 29 年 5 月 25 日	○防犯対策研修会 講師 川口市危機管理部防犯対策室 副主幹 福田 弘也 氏 主事 鈴木 翔 氏 川口警察署 生活安全課 主任 市川 卓 氏 川口警察署 地域防犯支援専門員 佐藤 彰 氏	青木会館	44
6 月 19 日	○アレルギー研修会 講師 川口市立医療センター 小児科 非常勤医師 山南 貞夫 氏	青木会館	76
6 月 30 日	○第 1 回全体研修会 「～他の児童に暴力をふるう、日常生活のルールを守らない 原因の理解と対応の方法について～」 講師 八潮市どんぐり学童クラブ 指導員 山本 博美 氏	青木会館	170
9 月 27 日	○救急救命研修会 講師 川口市消防局 救急課 救急指導係	青木会館	35
10 月 26 日	○特別な支援が必要な児童に対して学ぶ研修及び情報交換会 「発達障害の特性の理解と適切な対応方法について」 講師 川口市役所 子育て相談課 発達支援係 課長補佐 泉 浩平 氏 主 任 市村 清佳 氏	青木会館	58
平成 30 年 2 月 20 日	○第 2 回全体研修会 分科会No.1 「児童や保護者の気持ちを理解し、より良い信頼関係を築こ う」 講師 川口市役所 子育て相談課 発達支援係 主 任 市村 清佳 氏 臨床心理士 岡村 理恵 氏 分科会No.2 「ヨガ体験を通じて、心身のリフレッシュを図る」 講師 ヨガインストラクター 畠山 朋子 氏 分科会No.3 「児童との円滑なコミュニケーションを図るために必要な折 り紙の作成を学ぶ」 講師 盛人折り紙ふれあい	青木会館	172

8 子育てサポートプラザ事業

(1) つどいの広場事業

0歳から3歳児の親子が相互に交流する場を開設するとともに、子育て相談や情報の提供等を通して地域における子育て支援の充実を図ることで、子育ての不安感等の緩和と子どもの健やかな育ちを促進することを目的として、リリア2階「子育てサポートプラザ」及び鳩ヶ谷駅地下1階「子育てひろばポッポ♡」の運営を行った。

	子育てサポートプラザ	子育てひろばポッポ♡
開 場 日 数	242 日	244 日
利 用 者 延 数	31,986 人	13,674 人
新 規 登 録 者 数	900 人	391 人
見学者・ボランティア	131 人	46 人
※ふれあい相談延件数	2,851 件	1,334 件

※子育て中の親が抱える身近な悩みや不安の軽減を図るため、つどいの広場内で子育てに関するふれあい相談を行った。

①子育てミニ講座

子育ての悩みや不安の解消を図れるよう、専門的な分野の講座を開催した。

子育てサポートプラザ		
開 催 日	内 容	参加者数(人) ※子どもを含む
平成 29 年 4 月 27 日	生活リズムとトイレトレーニング	59
5 月 16 日	離乳食～すすめ方・作り方～	60
6 月 20 日	なぜ、歯磨きするの？	56
7 月 13 日	生活リズムとトイレトレーニング	61
8 月 13 日	子どものアレルギー	60
9 月 14 日	0歳から3歳児に起きやすい事故・けがの対処法	57
10 月 3 日	離乳食～すすめ方・作り方～	60
11 月 9 日	赤ちゃんの心の育ちとかかわり方	56
12 月 14 日	母乳・卒乳	59
平成 30 年 1 月 16 日	母乳・卒乳	54
2 月 7 日	子どもの病気	60
3 月 6 日	子どもの心の育ちとかかわり方	57

●相談延件数 81 件

子育てひろばポッポ♡		
開催日	内容	参加者数(人) ※子どもを含む
平成29年4月13日	子どものアレルギー	36
6月8日	生活リズムとトイレトレーニング	40
8月24日	母乳・卒乳	38
10月5日	子どもの心の育ちとかかわり方	39
12月8日	0歳～3歳児に起きやすい事故・けがの対処法	40
平成30年2月16日	離乳食～すすめ方・作り方～	40

●相談延件数 36件

②あそび講座（子育てサポートプラザ）

子育て中の親が『あそび』をテーマに集団遊びや製作に取り組み、子育てを楽しめるように促していくことを目的に開催した。

・開催回数 10回 ・参加者延数 390人（子どもを含む）

③あそぼう会（子育てひろばポッポ♡）

リズム・製作などを行いながら、保護者へ様々な遊びを伝えることを目的に開催した。

・開催回数 11回 ・参加者延数 318人（子どもを含む）

④お父さんとあそぼう

父と子が一緒に遊ぶ場を提供するとともに、父親同士で情報交換をしながら、前向きに楽しく子育てができるよう支援することを目的に開催した。（土・日で開催）

	開催回数(回)	参加者延数(人) ※子どもを含む
子育てサポートプラザ	5	352
子育てひろばポッポ♡	5	203

⑤ボランティアグループによるイベント

ボランティアグループの協力を得て、絵本の読みきかせなどを行った。

	イベント	開催回数 (回)
子育てサポートプラザ	○親子で楽しむわらべうたと絵本 ・内 容 わらべうたや絵本の読み聞かせ ・協力団体 わらべうたと絵本の会ピコット	23 毎月第1・第3 火曜日に開催
	○えいご・にほんご おはなし会 ・内 容 英語と日本語による絵本の読み聞かせ ・協力団体 えいご にほんご おはなし会	12 毎月第2 火曜日に開催
子育てひろばポッポ♡	○おはなし会 ・内 容 手遊びや絵本の読み聞かせ ・協力団体 おはなしじゅうたん かぶと虫の会	21 毎月第2・第4 火曜日に開催

⑥赤ちゃんママサロン (子育てひろばポッポ♡)

保護者同士の交流や友達作り、親子のふれあい遊びを行うことを目的に開催した。

- ・開催回数 5回
- ・参加者延数 150人 (子どもを含む)

⑦避難訓練

利用者の参加協力を得て、避難訓練を実施した。

	開催回数 (回)
子育てサポートプラザ	3
子育てひろばポッポ♡	2

⑧川口市子ども発達支援巡回事業

子育て相談課の保育士及び臨床心理士による巡回相談支援を行った。

	開催回数 (回)	個別相談者延数 (人)
子育てサポートプラザ	2	9
子育てひろばポッポ♡	2	7

⑨青少年ボランティアスクール受入れ

中・高校生のボランティアスクール生の受け入れを行った。

	受入れ日数 (日)	受入れ人数 (人)
子育てサポートプラザ	2	7
子育てひろばポッポ♡	1	2

(2) 利用者支援事業

「子育てサポートプラザ」及び「子育てひろばポッポ♡」において、子育て中のかたが地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるように支援することを目的として、子育て支援サービス利用者の個別ニーズを把握し、情報の集約・提供、相談、利用支援を行った。

①個別相談

子育て中の親が抱える悩みや不安の軽減を図るため、個別に面談及び電話相談を行った。

	相談者実人数 (人)	相談延件数 (件)
子育てサポートプラザ	908 (うち新規 447)	1,524 (電話 350・来所 1,174)
子育てひろばポッポ♡	647 (うち新規 340)	893 (電話 182・来所 711)

②出張子育て相談

子育て支援拠点等への来所が難しい親子に対して、地域に出向いて子育て支援、相談を行いながら、地域の子育て支援の活性化を図ることを目的に開催した。

	内 容	参加者数 (人) (同伴子ども)
子育てサポートプラザ	開催日 平成 29 年 5 月 18 日 場 所 中央ふれあい館 テーマ 子どものこころの発達とかかわり方 講 師 臨床心理士 岡村 理恵 氏	20 (20)
	開催日 平成 29 年 7 月 19 日 場 所 西公民館 テーマ 保活どうしてる？	18 (19)
	開催日 平成 29 年 9 月 21 日 場 所 上青木公民館 テーマ ママが主役！おしゃべり広場♪	14 (14)
子育てひろばポッポ♡	開催日 平成 29 年 8 月 2 日 場 所 朝日公民館 テーマ 保活どうしてる？	18 (17)
	開催日 平成 29 年 8 月 17 日 場 所 鳩ヶ谷市民センター テーマ 保活どうしてる？	18 (16)
	開催日 平成 30 年 2 月 14 日 場 所 南平公民館 テーマ 子どものこころの発達とかかわり方 講 師 臨床心理士 岡村 理恵 氏	12 (12)

③利用者支援事業担当者会議

利用者支援事業の円滑な運営を推進するために、川口市役所子ども育成課及び市内3カ所の利用者支援事業担当者が集まり、地域における課題抽出・検討等を行った。

- ・開催回数 3回

(3) 子育て支援総合コーディネート事業

市内における子育て支援活動の展開を図ることを目的に、子育て関係機関との連携及び子育て資源の育成、社会資源の開発などを行った。

①子育て音楽会

楽しく安心して子育てができるよう支援することを目的に、音楽会を開催した。

開催日	内 容	場 所	参加者数(人) ※子どもを含む
平成29年 9月9日	わくわく音楽会 演奏者 アンサンブル・ヴォッリオ	青木会館 市民ホール	190

②子育て講演会

子育て中の親が、子どもとのより良い関係を作りながら、楽しく子育てをしていく方法を学ぶことを目的に講演会を開催した。

開催日	内 容	場 所	参加者数(人) ※子どもを含む
平成30年 1月20日	講演「ママも子どもも悪くない！しからず すむ子育てのヒント」 講師 NPO 法人えじそんくらぶ 代表 高山 恵子 氏	鳩ヶ谷庁舎	134

③子育て講座（お母さん版NPプログラム）

カナダの親教育プログラム（NPプログラム）を参考に参加者が子育ての中で抱えている悩みや関心のあることをグループで話し合い、自分に合った子育ての仕方を見出せるよう支援する連続講座を開催した。

- ・開催日 平成29年 6月 7日 ～ 7月 6日（全6回）
- ・参加者数 19人
- ・託児数 20人

④川口市子育て支援団体・関係機関連絡調整会議

関係機関や地域子育て拠点等との連携を図ることを目的に会議を開催した。

	開催日	参加団体数	参加者数(人)
第1回	平成29年5月26日	31	44
第2回	平成29年9月27日	32	50
第3回	平成30年2月23日	27	41

⑤子育て支援職員研修

市内子育て支援事業の支援員に対し、専門知識及び資質の向上を目的に研修を開催した。

開催日	内 容	参加団体数	参加者数(人)
平成29年 9月27日	講義 「親支援としてのストレスケアマネジメント」 講師 NPO法人えじそんくらぶ 代表 高山 恵子 氏	34	55
平成30年 2月23日	講義 「保護者支援」 講師 埼玉県発達障害総合支援センター 地域支援担当部長 鈴木 久美子 氏	29	45

⑥子育てサポーターに関すること

地域における子育ての土壌づくりとして、子育てサポーターを養成するとともに、サポーターの派遣や調整についての業務を行った。

ア 子育てサポーター養成講座

託児ボランティアを養成するとともに、子育て支援に関する理解を深めることを目的に講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数(人)	託児数(人)
平成29年 10月17日	子どもの保育 子どものけがと病気の応急処置	14	4
10月31日	子どもの安全と心肺蘇生法、AEDについて	11	4
11月7日	子どものこころと身体の発達	12	5
11月14日	ボランティア活動の基本とかかわり方 活動の注意点 子育てサポーターの登録について	11	5
11月20日	子育てサポートプラザでのふれあい体験 ※希望者のみ	4	-

イ 子育てサポーターフォローアップ講習会

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 29 年 5 月 10 日	○講 義 「子どもの心の育ちとかかわり方」 講 師 臨床心理士 岡村 理恵 氏 ○交 流 会	19
平成 29 年 12 月 13 日	○講 義 「乳幼児に起きやすい事故・ケガの対処法」 講 師 保健師 池田 純子 氏 ○情報提供 「里親制度について」 緊急サポートセンター埼玉 ○交 流 会	12

ウ 子育てサポーター登録数 73人

エ 子育てサポーター派遣延数 233人

⑦育児サークルに関すること

市内の育児サークルの活性化、連携を図ることを目的に、サークルの登録管理及び連絡会を開催した。

ア 育児サークル登録数 52団体

イ 川口市子育て支援ボランティア団体・育児サークル連絡会議

開催日	内 容	参加団体数	参加者数(人) (同伴子ども)
平成 29 年 7 月 14 日	育児サークル紹介 情報交換	19	20 (10)
平成 30 年 3 月 5 日	育児サークル紹介 利用者支援事業について 情報交換	19	21 (7)

⑧子育てサロンへの協力

- ・中央地区社協（ファミリーサロン）
- ・並木地区社協（ぴよぴよサロン）
- ・朝日東地区社協（ママカフェ）

⑨インターンシップ・視察等受入れ

- ・インターンシップ 10人（東京大学）
- ・視察 1件（熊谷市）

9 ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を受けたいかたと子育ての援助を行いたいかたを会員として登録し、会員間による子育ての援助活動を支援することにより、家庭と育児の両立、子育て支援機能の強化を図ることなどを目的に事業を実施した。

(1) 会員数

	男 (人)	女 (人)	合 計 (人)
サポーター会員 (提供会員)	20	217	237
サービス利用者会員 (依頼会員)	77	1,730	1,807
両方会員 (提供・依頼会員)	3	242	245
合 計	100	2,189	2,289

(2) 事前打ち合わせ件数 268件

援助活動を開始するにあたり、アドバイザーとサービス利用者会員、援助対象児、サポーターとで、事前に顔合わせと援助内容の詳細を確認するための打ち合わせを行った。

(3) 来所対応件数 119件

サービス利用者会員として登録するにあたり、必要書類をセンターに持参し、アドバイザーが対応した。

(4) 説明会及び講習会の実施 (入会希望者対象)

内 容	開催回数 (回)	参加者延数 (人)	子ども・同伴者延数 (人)
利用者説明会	1	6	7
サポーター (両方会員) 講習会①②	6	43	8
サポーター (両方会員) 講習会③	2	4	-

※サポーター (両方会員) 講習会については、入会希望者が参加しやすいよう、①～③の短時間のカリキュラムに分けて段階的に実施した。

(5) 講習会及び交流会の実施 (会員対象)

内 容	開催回数 (回)	参加者延数 (人)	子ども・同伴者延数 (人)
フォローアップ講習会	3	44	5
全体交流会	1	17	11

(6) サブリーダー会議

アドバイザー及びサブリーダー、その関係職員による定例的な会議を実施し、援助活動の報告やセンター事業の企画運営について意見交換などを行った。

- ・ 5回開催 参加者延数 28人

(7) 活動状況

内 容	援助活動件数 (件)
保育所・幼稚園の登園前の預かり	136
保育所・幼稚園の送り	182
保育所・幼稚園の迎え	680
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	1,300
学校及び通学班の送り	346
学校の登校前の預かり	301
学校の放課後の預かり	13
放課後児童クラブの登室前の預かり	260
放課後児童クラブの送り	301
放課後児童クラブの迎え	1,373
放課後児童クラブ終了後の預かり	795
子供の病気時の援助	0
子供の習い事等の場合の援助	2,331
保育所・学校等休み時の援助	91
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	283
保護者等の求職活動中の援助	0
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	18
保護者等の外出の場合の援助	263
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	286
その他の活動	13
合 計	8,972

(8) 情報紙の発行

- ・ ファミサポ通信 2回発行

10 高齢者福祉事業

高齢者福祉の向上を目的として、次の事業を実施するとともに、市内団体の高齢者福祉事業に協力、助成した。

(1) 健康長寿支援事業（健康講師派遣事業）

健康長寿支援事業のメニューのひとつとして、サロンや高齢者の集まり等に健康の維持・増進に関する講習等を行う講師を派遣・紹介する健康講師派遣事業を実施した。

- ・講師登録数 16人
- ・派遣件数 13団体63件

(2) 老人クラブ連合会交付金

助成金名称	交 付 額 (円)
たたら荘地区運営委員会助成金	60,000

(3) 金婚・ダイヤモンド婚賀詞贈呈事業

金婚・ダイヤモンド婚を迎えたご夫婦を祝うため、川口市社会福祉大会(川口市福祉の日に開催)において賀詞を添えた記念品を贈呈した。

- ・金 婚 135組
- ・ダイヤモンド婚 15組

(4) さわやかコール事業

高齢者の孤独感を和らげるとともに健康状態及び安否を確認することを目的に、ボランティアが定期的にひとり暮らしの高齢者に対して電話訪問を実施した。

- ・利用者数 48人
- ・電話ボランティア登録者 57人
- ・通話回数 3,085回(うち社協通話回数 93回)
- ・ボランティアスタッフ定例会 平成30年 3月12日(月) 16人が参加した。

1 1 老人居宅介護等事業

介護保険法に基づき、埼玉県指定を受け訪問介護・介護予防訪問介護事業所及び介護予防・日常生活支援総合事業所を運営した。

(1) 訪問介護・介護予防訪問介護事業

「いつも笑顔で安心介護」の理念をモットーに、居宅サービス計画書(ケアプラン・予防プラン)等に基づいた①身体介護 ②生活援助 ③介護予防訪問介護 ④訪問型サービスを実施した。

訪問介護・介護予防訪問介護件数及び時間数 単位：件(上段)、時間(下段)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	290	283	278	262	251	242	237	233	218
時間数	2,714.9	2,895.7	2,698.5	2,503.4	2,491.1	2,415.9	2,461.7	2,374.8	2,344.6

1月	2月	3月	合計	平均
214	201	193	2,902	241.8
2,181.1	2,101.5	2,177.7	29,360.9	2,446.7

介護予防・日常生活支援総合事業件数及び時間数 単位：件(上段)、時間(下段)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	8	13	17	24	39	44	56	63	73
時間数	44.8	86.7	123.3	154.8	226.3	241.6	283.6	329.5	386

1月	2月	3月	合計	平均
83	90	98	608	50.7
397.2	412.7	495.3	3,181.8	265.2

(2) 在宅自立支援訪問介護（院内介助）サービス事業（介護保険外）

介護保険適用外の有料の訪問介護サービスとして、院内介助を実施した。

在宅自立支援訪問介護件数及び時間数

単位：件（上段）、時間（下段）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	4	3	4	4	3	4	6	3	6
時間数	5	5.5	5	8	5	8	11.5	6.5	8

1月	2月	3月	合計	平均
4	7	3	51	4.3
6.5	19.5	7.5	96	8

1 2 高齢者自立支援事業

川口市からの受託により、川口市内に住所を有するおおむね65歳以上で病気やけがにより一時的に日常生活に支障のあるかたに対して、6カ月を限度に自立生活支援員（ホームヘルパー）を派遣した。

自立生活支援員活動状況訪問延件数（同行訪問含む）

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪問延件数	110	127	111	84	103	129	168	159	131

1月	2月	3月	合計	平均
101	112	124	1,459	121.6

1 3 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、埼玉県指定を受け居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業所を運営した。また、川口市の地域生活支援事業である移動支援事業を行った。

(1) 障害福祉サービス事業件数及び時間数

単位：件（上段）、時間（下段）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	73	72	71	66	70	74	72	73	75
時間数	1,494.3	1,419.8	1,300.2	1,242.8	1,256.5	1,135.2	1,186.4	1,171.8	1,234.1

1月	2月	3月	計	平均
71	71	74	862	71.8
1,039.1	1,072.8	1,112.8	14,665.8	1,222.2

(2) 移動支援事業件数及び時間数

単位：件（上段）、時間（下段）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	7	7	6	6	6	8	8	8	9
時間数	46	50	41	36	45	37	43.5	49	49

1月	2月	3月	計	平均
8	8	8	89	7.4
34.5	47	37.5	515.5	43

1 4 障害者相談支援事業

障がい者（児）に関する相談窓口として事業を実施した。また、川口市からの委託による障害支援区分認定調査の実施や関係機関との会議等に参加した。

（1）川口市障害者相談支援事業（委託事業）

川口市の委託を受け、地域で生活する障がいのあるかたやその家族、関係機関からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うことで、自立した日常生活及び社会生活が送れるように総合的・継続的に支援を行った。

①支援方法 合計 1, 5 8 5 件

	電話	来所	訪問	同行	個別支援会議
件数	1, 117	138	276	27	27

②支援内容 合計 3, 7 9 8 件

	福祉サービス	障がい・病状理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係
件数	1, 038	4	624	482	29	230

	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇	権利擁護	その他
	276	792	269	2	6	46

③新規相談受理件数 7 0 件

④関係機関連絡調整の件数 6 3 3 件

（2）特定相談支援事業

障害サービスを利用するうえで必要なサービス等利用計画の作成及びその計画に沿った相談支援を行った。

①契約件数 6 4 件

②支援方法 合計 1, 9 3 4 件

	電話	来所	訪問	同行	個別支援会議
件数	1, 381	126	383	27	17

③支援内容 合計 4, 262件

	福祉 サービス	障がい・ 病状理解	健康・医療	不安解消・ 情緒安定	保育・教育	家族・ 人間関係
件数	2,745	2	498	327	3	376

	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・ 余暇	権利擁護	その他
	115	97	52	40	0	7

④関係機関連絡調整の件数 1, 015件

(3) 障害支援区分認定調査 6件

(4) 会議等への参加

支援の充実を図るため、関係機関との会議等に参加し、情報交換及び連絡調整を行った。

主な会議・連絡会名	概 要	開催・参加回数 (回)
川口市自立支援協議会	関係機関が集まり、「障害者福祉計画」や「自立支援福祉計画」の進捗状況の確認や評価、地域ニーズの把握、ネットワーク作り等を行う会議に参加した。	本会議 5 むすぶ部会 2 つくる PT 5 みみず PT 3 子ども部会 3
川口市障害者差別解消支援地域協議会	地域における障がい者差別に関する相談等について情報を共有し、障がい者差別を解消するための取組みを効果的かつ円滑に行うための会議に参加した。	4
川口市障害者相談支援事業所連絡会 (10 支援連絡会)	川口市内 10 カ所の障害者相談支援事業所と川口市障害福祉課により、情報の共有・連携を図ることを目的とした連絡会に参加した。	12
川口市自立支援協議会・川口市障害者相談支援事業所連絡会事務局会議	川口市自立支援協議会及び川口市障害者相談支援事業所連絡会の事務局会議に参加した。	12
南 5 地区計画相談に関する情報交換会	川口市障害福祉課と青木、横曽根、鳩ヶ谷、南平、中央地区の委託相談支援事業所及び特定相談支援事業所が集まり、事例検討や情報交換を行った。	47
権利擁護・意思決定支援担当	障害者差別解消法の制定に伴い、障がい者の権利に関する研修及び障がい者の差別解消に関するアンケートの実施に伴う打ち合わせを行った。	6

(5) 障がい者に対する事業への協力

川口市等が主催する研修やセミナー等への協力として、パネルの貸出やパンフレットの提供をした。

1 5 手話通訳者派遣事業

川口市の委託を受け、聴覚障がい者の日常生活支援を目的に、情報伝達やコミュニケーションの仲介を行う手話通訳者派遣事業を実施した。

(1) 派遣実績

①川口市登録手話通訳者、専任手話通訳者対応

単位：件

生 活	医 療	職 業	教 育	住 居	その他	計
251	1,181	31	54	7	124	1,648

②外部派遣 埼玉聴覚障害者情報センター等（特に専門性の高い通訳） 6件

(2) 登録手話通訳者 25人

(3) 登録手話通訳者研修会 3回開催

- ・平成29年 8月20日（日） 複数派遣の交代方法、電話通訳研修 参加者 17人
- ・平成29年11月12日（日） 聞き取り表現 参加者 10人
- ・平成30年 1月28日（日） 講義・実技（事例・読み取り） 参加者 13人

(4) 聴覚障害者と手話通訳者の交流会 3回開催

- ・平成29年 7月 9日（日） 「いきいき元気で過ごすための身体作り」 参加者 31人
- ・平成29年10月29日（日） 「お口の健康、嚥下体操」 参加者 22人
- ・平成29年12月10日（日） 「気軽に話そう！おしゃべり交流会」 参加者 35人

1 6 障害者居宅サービス技術援助事業

障害者の自立と社会復帰を促進し福祉の増進を図るとともに、居宅サービスを提供する事業所及びヘルパーの支援技術向上を目的として障害者居宅サービス技術援助事業を行った。

(1) 居宅サービス内容検討会の開催

事例によるヘルパー同士の意見交換や専門職のアドバイスを受け、援助方法を検討することを目的とし、検討会を開催した。

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 29 年 4 月 18 日	「障害者総合支援法と福祉サービスについて」 講師 川口市障害福祉課 係長 小柳 直明 氏	27
5 月 16 日	ゲストワークショップⅠ 「当事者からのメッセージ」 講師 川口市精神障害者の会 よつば	23
6 月 20 日	テーマ別事例検討・意見交換・情報交換 ～精神的な波があり金銭感覚が難しいかたの支援について～	15
7 月 18 日	テーマ別事例検討・意見交換・情報交換 ～慎重に言葉を選んで対応する発達障害者への支援について～	14
10 月 17 日	テーマ別事例検討・意見交換・情報交換 ～重度知的障害者と年老いてきた家族の将来について～	22
11 月 21 日	テーマ別事例検討・意見交換・情報交換 ～対人コミュニケーションの不安が強い統合失調症への支援について～	12
12 月 19 日	ゲストワークショップⅡ 「自殺予防（ゲートキーパー研修）」 講師 川口市保健センター 精神保健福祉相談員 遠藤 哲一郎 氏	22
平成 30 年 1 月 24 日	ゲストワークショップⅢ 「居宅介護従事者の身体のリフレッシュ体操～美筋&リンパストレッチ～」 講師 フィットネスダンスインストラクター 寺本 和子 氏	14
3 月 20 日	「川口市保健所 精神保健福祉業務について～中核市移行に伴う説明会～」 講師 川口市保健所準備室 主任 岡本 秀行 氏 「居宅介護事業所・相談支援事業所 懇親会」	19

(2) 川口市障害者支援ホームヘルパー研修会

障害者に対する理解や知識を深め、円滑なホームヘルプサービスの提供を目的として、研修を開催した。

開催日	内 容	参加者数(人)
1 日目 平成 29 年 8 月 22 日	講義 「精神障害者への支援について」 講師 訪問看護ステーションデューン上尾 精神保健福祉士 渡辺 拓 氏	52
2 日目 平成 29 年 9 月 6 日	施設見学「社会福祉法人 みぬま福祉会 川口太陽の家」	16

(3) 川口市障害者支援ホームヘルパースキルアップセミナー

専門医等から、より専門的な疾患の知識や対応方法を学び、スキルアップを図った。

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 30 年 2 月 14 日	講義 「大人の発達障害について」 講師 株式会社 越谷心理支援センター 臨床心理士 林 輝明 氏	38

1 7 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

埼玉県社会福祉協議会から委託を受け、認知症高齢者、障がい者等のひとりで生活していくには不安があるかたの権利を擁護することを目的として、福祉サービス利用援助、日常生活に伴う金銭管理などを行う「あんしんサポートねっと」事業を実施した。

(1) 利用者数 (平成30年3月31日現在)

対 象 者	人 数 (人)
認知症高齢者等	12
精神障がい者	9
知的障がい者	5
その他	5
合 計	31

(2) 生活支援員活動時間

対 象 者	活動時間 (時間)
認知症高齢者等	97
精神障がい者	93.5
知的障がい者	67
その他	31
合 計	288.5

(3) 支援内容

①問合せ・初回相談

対 象 者	件 数 (件)
認知症高齢者等	46
精神障がい者	14
知的障がい者	7
その他	5
合 計	72

②訪問・相談援助

対 象 者	件 数 (件)
認知症高齢者等	218
精神障がい者	257
知的障がい者	268
その他	36
合 計	779

③書類等預かりサービス (平成30年3月31日現在)

対 象 者	件 数 (件)
認知症高齢者等	1
精神障がい者	1
知的障がい者	1
その他	0
合 計	3

(4) 生活支援員 21人

(5) 生活支援員定例会

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 6 月 23 日	○第 1 回定例会 「高齢者や障がい者の消費者被害を防ぐための見守りについて」 講師 埼玉県消費生活支援センター 消費生活相談員 木下 久美子 氏 ・平成 28 年度事業報告	9
11 月 28 日	○第 2 回定例会 ・「川口市生活自立サポートセンターについて」 講師 川口市生活自立サポートセンター 主任相談支援員 ・意見交換「日々の活動について」	7
平成 30 年 1 月 29 日	○第 3 回定例会 ・交流会「生活支援員の活動について」	9

1 8 生活福祉資金貸付事業

埼玉県社会福祉協議会から委託を受け、所得の少ない世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、生活福祉資金の貸付窓口業務を実施した。

(1) 相談件数 327人

(2) 貸付件数・金額等

区 分	種 類	貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
総合支援資金	生活支援費	1	33,000
	住宅入居費	0	0
	一時生活再建費	0	0
福祉資金	福祉費	1	53,000
	緊急小口資金	5	390,000
教育支援資金	教育支援費	2	505,000
	就学支度費	2	383,000
不動産担保型生活資金	要保護世帯向け不動産担保 型生活資金	0	0
	不動産担保型生活資金	2	48,300,000
臨時特例つなぎ資金		0	0
合 計		13	49,664,000

19 青木会館事業

(1) ホール・会議室・宴会場の貸出の実績

市民の文化の向上と社会福祉の増進に寄与することを目的に、川口市内外の団体等に会議室の貸し出しを行った。なお、宴会場は委託運営の終了に伴い、多目的室に変更した。(平成29年10月から予約を受け付け、12月から利用を開始)

単位：件

市民 ホール	大会議室	中会議室 A	中会議室 B	小会議室	たたら荘 集会室	宴会場	多目的室	合計
130	367	396	396	534	25	61	30	1,939

会場使用料	5,036,880 円
自動販売機収入	893,318 円

(2) 宴会場、レストランによる事業実績収入

5階宴会場及び1階レストランの運営を民間業者に委託し、売上げに基づく実績収入を得た。なお、1階レストランは平成29年8月末で閉店し、5階宴会場は同年10月末をもって委託運営を終了した。

区分	件数・営業日	事業実績収入額 (円)
宴会場	40	454,340
レストラン	106	198,972
合計		653,312

(3) 老人福祉センター 青木たたら荘

余暇活動の活性化を目的に、市内在住の60歳以上のかたを対象とした入浴・娯楽施設「老人福祉センター青木たたら荘」の運営を行った。

開所日数 (日)	利用者数 (人)	1日平均 (人)	健康相談 (人)	利用料収入 (円)
291	25,654 (2,748)	88	180	2,282,900

* () 利用料免除者数 * 敬老の日は無料開放とした。(77人)

20 やすらぎ会館事業

(1) 会議室等の貸出の実績

単位：件

集会室	大会議室	中会議室	小会議室	合計
227	153	283	459	1,122

会場使用料	879,800 円
自動販売機収入	88,421 円

21 住民参加型福祉サービス事業

(1) 家事援助サービス・ちょこっと困りごとサポート

①家事援助サービス

家事ができず、家族などからの支援も困難なかたの自宅に協力員を派遣し、有料で家事等を実施した。

利用者数 (人)		利用時間	利用料金 (円)	協力員数 (人)	
高齢者	131	5,308 時間 10 分	3,184,900	派遣人数	92
障がい者	5	76 時間 20 分	45,800		
産前・産後	16	135 時間 40 分	81,400	登録人数	184
病気・けが	8	117 時間 00 分	70,200		
合計	160	5,637 時間 10 分	3,382,300		

②ちょこっと困りごとサポート

日常生活のちょっとした困りごとがあるかたの自宅に協力員を派遣し、有料でサービスを実施した。

利用者数 (人)		利用件数 (件)		利用料金 (円)		協力員数 (人)	
高齢者	27	高齢者	44	高齢者	16,200	派遣人数	21
障がい者	4	障がい者	9	障がい者	2,700	登録人数	140
合計	31	合計	53	合計	18,900		

③研修会・交流会

協力員の知識及び資質の向上を目的に、研修会・交流会等を実施した。

催事名	開催日	内容	場所	参加者数(人)
協力員 入門講座	平成 29 年 10 月 27 日	住民参加型福祉サービスについて	西公民館 講座室	4
	10 月 30 日		青木会館 中会議室 B	4
協力員 研修会 ・ 交流会	平成 29 年 9 月 28 日	・ 講座 「高齢者の消費被害を防ぐための 見守りについて」 ・ 交流会「状況報告・意見交換」	西公民館 講座室	16
	10 月 10 日		青木会館 大会議室	20
	平成 30 年 2 月 15 日	・ 平成 30 年度からの住民参加型福 祉サービス変更点について説明会 ・ 交流会「状況報告・意見交換」	青木会館 市民ホール	31
	2 月 16 日		芝公民館 講座室	14
	2 月 19 日		神根福祉センター 研修室	11
	2 月 20 日		幸栄公民館 会議室 1	7
2 月 21 日	やすらぎ会館 中会議室	13		

④有償型在宅福祉サービス団体情報交換会

市内の有償型在宅福祉サービス団体（7団体）を集めて情報交換会を実施した。

平成 29 年 10 月 12 日（木）

(2) 食事サービス

①食事の支度ができず、家族などからの支援も困難なかに、有料で栄養バランスがとれた昼食の配食（日曜日を除く週 6 日）を安否確認も兼ねて実施した。

利用者数(人)		配食数(食)	社協負担額(円)
高 齢 者	270	36,991	3,756,580
障 がい 者	30	5,546	562,880
産前・産後	7	149	15,050
病気・けが	9	1,726	175,420
合 計	316	44,412	4,509,930

②委託業者を集めて検食や情報交換等、食事サービス品質向上会議を実施した。

- ・平成29年 7月24日（月）
- ・平成29年12月11日（月）
- ・平成30年 3月 9日（金）

(3) 介護用品助成サービス

在宅介護で使用する介護用品（紙おむつ、防水シート）の購入費用の一部を助成した。なお、本サービスについては、平成29年度で廃止とする。

種 類	高齢者		障がい者		利用者数計（人）	助成金額計（円）
	人数（人）	金額（円）	人数（人）	金額（円）		
紙おむつ	179	1,059,000	6	52,000	185	1,111,000
防水シート	18	78,000	3	3,000	21	81,000
合 計	197	1,137,000	9	55,000	206	1,192,000

(4) 車いす貸出サービス

自宅で車いすが一時的に必要なかたに、車いすの貸し出しを実施した。

利用件数（件）		車いす台数（台）	
高 齢 者	230	自 走	33
障 が い 者	17	介 助	45
産前・産後	3	子ども用	3
病気・けが	76	合 計	81
合 計	326		

・利用料金 113,000円

(5) 福祉車両貸出サービス

常時車いす利用者または歩行困難なかたに対し、福祉車両（スロープ式）の貸し出しを実施した。川口西ライオンズクラブ様より新たに福祉車両1台の寄贈があり、合計3台となった。

利用者数（人）		利用件数（件）	
高 齢 者	28		134
障 が い 者	3		16
病気・けが	0		0
合 計	31		150

2 2 交通遺児育英事業

交通遺児の健全育成を図るため、関係機関・団体と協力し、次の事業を実施した。

(1) 奨学金の贈呈

	対象者数	申請者数・贈呈者数	基準額	金額 (円)
前期 (9月)	5世帯 5人	4世帯 4人	30,000円/人	120,000
後期 (3月)	5世帯 5人	4世帯 4人	30,000円/人	120,000
計	10世帯 10人	8世帯 8人	—	240,000

(2) 年末支援金の贈呈

対象者数	申請者数・贈呈者数	基準額	金額 (円)
9世帯 15人	8世帯 13人	30,000円/人	390,000

(3) 入卒時祝金の贈呈

区分	対象者数	申請者数・贈呈者数	基準額	金額 (円)
小学校入学	0世帯 0人	0世帯 0人	20,000円/人	0
中学校入学	2世帯 2人	2世帯 2人		40,000
中学校卒業	2世帯 2人	2世帯 2人		40,000
高等学校卒業	1世帯 1人	1世帯 1人		20,000
計	5世帯 5人	5世帯 5人	—	100,000

(4) 修学旅行支援金の贈呈

区分	対象者数	申請者数・贈呈者数	基準額	金額 (円)
小学校	2世帯 2人	2世帯 2人	20,000円/人	40,000
中学校	2世帯 2人	2世帯 2人	30,000円/人	60,000
高等学校	1世帯 1人	1世帯 1人	50,000円/人	50,000
計	5世帯 5人	5世帯 5人	—	150,000

2 3 居宅介護支援事業

介護保険法に基づき、埼玉県指定を受け居宅介護支援事業所を運営し、居宅サービス計画書（介護ケアプラン・介護予防ケアプラン）の作成等を行った。また、川口市から委託を受け、要介護認定申請者に対し訪問調査を行った。

(1) 介護ケアプラン作成件数

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	154	148	150	152	152	151	152	162	159

1月	2月	3月	合計	平均
159	158	159	1,856	154.7

(2) 介護予防ケアプラン作成件数

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	15	15	13	12	12	10	9	11	12

1月	2月	3月	合計	平均
10	10	11	140	11.7

(3) 介護保険要介護認定訪問調査

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	6	5	7	5	5	2	5	3	6

1月	2月	3月	合計	平均
5	4	4	57	4.8

2 4 地域包括支援センター

川口市から青木地域包括支援センターの委託を受け、総合相談支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント支援の中核機関として、次の事業を実施した。

また、生活支援コーディネーターを中心に、住み慣れた場所で安心して暮らし続けられる地域を目指し、関係機関や地域に住むかたと共にネットワークの構築を図った。

(1) 総合相談支援事業

相談件数 5,428件 (電話3,815件、来所487件、訪問1,083件、文書43件)

(2) 権利擁護事業

①成年後見 相談件数 104件 (電話71件、来所4件、訪問21件、文書8件)

※新規13件

②虐待 相談件数 38件 (電話25件、来所5件、訪問8件)

※新規 8件

(3) 介護予防ケアマネジメント事業

①予防給付

予防給付ケアプラン作成 1,423件 (自社 720件、委託 703件)

②介護予防ケアマネジメント

・予防ケアマネジメントA 577件 (自社 321件、委託 256件)

・予防ケアマネジメントC 47件

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

①ケアマネ会議

地域の介護支援専門員に対する支援の一環として、勉強会や情報交換を行った。

- ・青木地区内及び介護予防支援を一部委託している居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象とした勉強会を開催した。

開催日 (会場)	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 5 月 17 日 (青木会館)	第 1 回 ケアマネ交流会 ○講義、グループワーク テーマ「認知症の理解～介護者家族の気持ちを知る～」	41
10 月 20 日 (青木会館)	第 2 回 ケアマネ交流会 ○講義、グループワーク テーマ「認知症の方への対応について」	36
平成 30 年 1 月 15 日 (青木会館)	ケアマネ交流会 企画検討会 ○座談会 交流会の目的、内容、運営方法等に対して地域の主任介護支援専門員と共に評価・意見交換を行い、来年度の内容について検討を行った。	6

②日常的相談

相談件数 ケアマネジャー相談 198件 サービス事業者相談 65件

(5) 会議等の開催

①ネットワーク会議、地域ケア会議等開催

ア 青木見守り連絡会

高齢者の見守り支援体制を構築するとともに、生活支援体制整備業務として住民同士が助け合い、支え合う地域づくりを進めていくため、地域に住むかたや関係機関とのネットワーク構築を図った。

開催日（会場）	内 容	参加者数（人）
平成 29 年 7 月 11 日 （青木会館）	○講義、グループワーク テーマ「わが町再発見 まとめ」 ～地図作りを通して見えたこと～	39
平成 30 年 3 月 19 日 （青木会館）	○講義、意見交換 テーマ「今後の青木見守り連絡会について」	6

イ その他ネットワーク構築活動 10回

②出前講座等実施

ア 認知症サポーター養成講座、実践講座

認知症に関する正しい知識の普及・啓発、認知症の当事者やその家族の抱える思いの理解を深めるため、地域住民、団体等の依頼や本センターの主催により、認知症サポーター養成講座を開催した。また、サポーターが地域で活動できるよう、さらに理解を深めるために認知症サポーター実践講座を開催した。

開催日	主催者	参加者数（人）
平成 29 年 4 月 13 日	青木地域包括支援センター	25
8 月 1 日	青木地域包括支援センター	21
8 月 23 日	サービス付き高齢者住宅 プレミオ川口	14
11 月 15 日	青木地域包括支援センター（実践講座）	12
11 月 23 日	川口市長寿クラブ連合会	94
平成 30 年 2 月 21 日	川口警察署	71

イ 認知症カフェ

認知症となっても地域で安心して暮らせるよう、認知症の当事者やその家族が交流できる集いの場を開催した。

- ・認知症の本人と家族の集いの場 オレンジタイム手とて 3回

ウ その他出前講座実施数 13回

25 成年後見センター

川口市から成年後見センターの委託を受け、認知症や知的障がい、精神障がいにより判断能力が十分でないかたが、成年後見制度を円滑に利用できるよう成年後見センター事業を実施した。

(1) 川口市成年後見センター運営委員会

川口市成年後見センターの業務の適正な運営を図ることを目的に、専門職や行政職員等を委員とし、運営委員会を開催した。

- ・平成29年 5月30日(火) 出席者 9人
- ・平成29年 7月27日(木) 出席者 10人
- ・平成29年 9月28日(木) 出席者 7人
- ・平成29年11月 9日(木) 出席者 8人
- ・平成30年 1月22日(月) 出席者 8人
- ・平成30年 3月19日(月) 出席者 8人

(2) 相談対応・支援

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように成年後見制度の利用に関する相談・助言を行った。

- ・相談件数 526件

①相談方法

	電話	来所	訪問等
件数	312	180	34

②相談者

	本人	親族	隣人 知人	関係 機関	地域包括 支援センター	障 害 者 相談支援センター	後見人等	他市町村 社 協	匿名 不明	その他
件数	44	273	6	117	26	24	2	3	6	25

③対象者

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	匿名・不明	その他
件数	399	35	54	9	29

(3) 成年後見制度の普及啓発に関すること

①成年後見制度普及啓発セミナーの実施

成年後見制度を広く市民に周知することを目的として開催した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 9 月 30 日	第 1 部 講演「権利擁護をとおして考える成年後見」 ～その人を支えるために大切なこと～ 講師 (公社) 日本社会福祉士会 理事 星野 美子 氏 第 2 部 発表「それぞれの立場から考える権利擁護と成年後見制度」 発表者①A氏 (制度を利用しているご本人) ②長江 勇 氏 (成年後見人、社会保険労務士) ③光川 寿芳 氏 (障害者相談支援センターいまむら 管理者 相談支援専門員) ④溝井 美恵子 氏 (夫の成年後見人) コーディネーター・講評 星野 美子 氏	61

②成年後見制度の普及啓発に関する出前講座の実施

市内各団体等からの依頼に基づき、制度の普及啓発を目的に職員による制度説明等に加え、法人後見支援員による寸劇を実施した。

- ・実施件数 6 件 (うち法人後見支援員による寸劇が内容に含まれるもの 2 件)

③成年後見制度市民向け講座の開催

各専門職団体等に講師を依頼し、市民を対象とした講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 6 月 24 日	講義 知っていますか？成年後見制度！ 講師 NPO 法人市民後見かわぐち 相澤 九八朗 氏	13
9 月 2 日	講義 老後に向けて出来ること ～任意後見制度を知っていますか～ 講師 (社団) コスモス成年後見サポートセンター埼玉県支部 行政書士 石塚 昭 氏	26
10 月 28 日	講義 わかりやすく解説！成年後見制度の具体的な手続きについて 講師 (公社) 成年後見センター・リーガルサポート埼玉支部 司法書士 内田 龍一 氏	25
12 月 16 日	講義 わかりやすく解説！成年後見人の具体的な役割について 講師 埼玉弁護士会 高齢者・障がい者権利擁護センター 弁護士 齋藤 元樹 氏	18
平成 30 年 2 月 17 日	講義 成年後見制度が必要な方との接し方について 講師 (公社) 埼玉県社会福祉士会権利擁護センター ぽあとなあ埼玉 社会福祉士 田中 眞弓 氏	19

(4) 関係機関との連携に関すること

①成年後見制度関連機関情報交換会

市民がより制度を円滑に利用できるように成年後見の相談業務に携わっている団体や機関が一堂に会することにより、各々の事業内容を把握し、連携を深めていくことを目的に実施した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 6 月 27 日	説 明 川口市における市長申立ての現状 説明者 川口市福祉部長寿支援課 主任 石丸 あずさ 氏 川口市福祉部障害福祉課 主任 加藤 悠 氏 情報交換会「それぞれの立場で得意なこと、不得意なこと」	63
平成 30 年 2 月 14 日	説 明 成年後見制度利用促進基本計画について 説明者 埼玉県福祉部地域包括ケア課 主事 本多 将樹 氏 情報交換会「地域連携ネットワークについて」	57

②障害者相談支援センター（権利擁護・意思決定支援担当）との連携

障害者相談支援センターとともに権利擁護をテーマにした研修を開催した。

(5) 川口市市民後見人候補者養成研修

市民後見人として必要な知識等の習得を目的に開催した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 12 月 7 日	川口市市民後見人候補者養成研修 事前説明会 講演 なぜ、市民後見人が求められているのか 講師 (社福) 埼玉県社会福祉協議会 権利擁護センター 所長 丸山 広子 氏 説明 市民後見人候補者養成研修について	25
平成 30 年 1 月 12 日～ 2 月 23 日	川口市市民後見人候補者養成研修 本研修 ・全 10 日間 (49 時間)	9

(6) 法人後見支援員に関すること

川口市市民後見人候補者養成研修修了者のうち、市民後見人として活動を希望するかたに対し、本会が法人後見支援員を委嘱した。

・委嘱人数 16人

①定例会・フォローアップ研修の開催

法人後見支援員同士の情報交換及び資質向上を目的に、定例会及びフォローアップ研修を開催した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 4 月 19 日	定例会 ・法人後見受任案件について	7
5 月 19 日	定例会 ・生活保護制度について 川口市福祉部生活福祉 1 課 課長補佐 吉澤 謙一 氏 ・法人後見受任案件について	11
6 月 15 日	定例会 ・生活困窮者自立相談支援事業をとおして感じた困窮とは 川口市自立生活サポートセンター 主任相談支援員 ・法人後見受任案件について	12
7 月 25 日	定例会 ・アルコール、薬物依存症について 川口市福祉部障害福祉課 主事 佐野 美貴 氏 ・法人後見受任案件について	6
8 月 30 日	定例会 ・事例検討 (本人・支援者の視点、後見人の立ち位置)	8
9 月 14 日	第 1 回フォローアップ研修 講義 支援者としての死との向き合い方 講師 (公社) 埼玉県看護協会 鳩ヶ谷訪問看護ステーション 所長 白石 恵子 氏	10
10 月 23 日	定例会 ・法人後見受任案件について	7
11 月 21 日	定例会 ・事例検討 (余命 1 年のケース) ・法人後見受任案件について	8
12 月 14 日	定例会 ・法人後見受任案件について ・被後見人が亡くなったあとの対応	6
平成 30 年 1 月 25 日	定例会 ・法人後見受任案件について	11
2 月 22 日	第 2 回フォローアップ研修 講義 意思決定支援ガイドラインについて 講師 NPO 法人 埼玉県相談支援専門員協会 副代表 丹羽 彩文 氏	11
3 月 20 日	定例会 ・平成 30 年度法人後見支援員の委嘱 ・法人後見受任案件について	15

②成年後見センター業務に関する研修

成年後見センターでの業務及び職員との同行訪問等を通し、市民後見人候補者となるために必要な経験を積むことを目的に実施した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 29 年 6 月 1 日～9 月 29 日	被後見人等への同行訪問または関係書類の確認	6

(7) 法人後見・後見監督の受任に関すること

法人後見支援員が市民後見人として家庭裁判所から選任されるための活動・経験の場を提供することを目的に法人として成年後見人等を受任し、財産管理や身上監護を実施した。また、市民後見人が選任された後は、後見監督人として活動を支援した。

- ・受任件数 法人後見件数 11 件 (後見 8 件、保佐 3 件)
後見監督件数 3 件 (後見 3 件) ※市民後見人へ移行
(平成 30 年 3 月 31 日現在)

①法人後見支援件数 1, 173 件

	電話	来所	訪問	その他
件数	684	62	413	14

②後見監督支援件数 205 件

	電話	来所	訪問	その他
件数	129	32	28	16

2 6 生活困窮者自立相談支援事業

川口市から川口市生活自立サポートセンターの委託を受け、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立促進を図った。

(1) 事業内容

- ①相談支援体制の構築及び生活困窮者の把握、相談受付
- ②スクリーニング(課題の抽出・整理・分類)による各種支援制度及び関係機関との連絡調整
- ③アセスメント(状況・課題の把握、分析)の実施及びプランの策定、評価

(2) 相談受付件数

窓口等での直接受付 690件 電話での問い合わせ 280件 計 970件

(3) 相談者の性別・年齢構成

単位：人

	男性	女性	計
10代	3	1	4
20代	32	25	57
30代	66	59	125
40代	85	74	159
50代	87	43	130
60代	70	33	103
70代	50	30	80
80代	21	10	31
90代	0	1	1
計	414	276	690

(4) 相談経路

直接来所 506件

関係機関・関係者からの紹介 184件

(5) 初回面談時の主訴

単位：件

病気や健康、障がいのこと	39
住まいについて	80
収入・生活費について	324
家賃やローンの支払いのこと	69
税金や公共料金等の支払いについて	32
債務について	2
仕事探し、就職について	94
仕事上の不安やトラブル	1
地域との関係について	1
家族との関係について	6
介護のこと	3
ひきこもり・不登校	13
DV・虐待	1
食べるものがない	8
その他	17
計	690

(6) 初回面談時のスクリーニング（分類）結果 単位：件

継続支援し、プラン策定予定	172
情報提供・相談対応のみで終了	427
福祉事務所（生活保護）へのつなぎ	45
他制度・他機関等へのつなぎ	46
計	690

(7) 支援方法 単位：件

電話による相談対応	966
訪問・同行支援	143
窓口等での直接面談	1,999
他機関との電話照会・協議	275

(8) 出張相談会の開催

芝地区社協・西地区社協が既の実施している相談事業の場の一角を借用し、潜在的な困窮者の掘り起こし及び事業周知を図るため出張相談会を開催した。

- ・開催場所 芝公民館、芝西公民館、芝北公民館、西公民館
- ・開設日数 芝地区3日、西地区2日
- ・相談実績 5人

(9) フードドライブの実施

平成29年12月1日～15日を受付期間とし、市社協職員に呼びかけフードドライブを実施した。約160点の食品が集まり、年末年始に食べるものがなく困窮している相談者を対象に提供した。

(10) プラン作成件数・支援調整会議

プラン案の適切性の協議・支援提供者によるプランの共有・プラン終結時等の評価・社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を行った。

- ①プラン作成件数 新規プラン 162件 再プラン 49件
- ②プラン終結件数 129件
- ③支援調整会議開催回数 20回

(11) 研修・会議等への参加

支援の充実を図るため研修・会議等に参加し、援助技術の習得や情報交換を行った。また、講師として参加し事業周知を行った。

開催日	研修・会議名	場所
平成 29 年 4 月 17 日～19 日	平成 29 年度生活困窮者自立支援制度新任支援員研修	彩の国すこやかプラザ
7 月 4 日	第 5 回生活困窮者支援ネットワーク協議会	済生会川口総合病院
7 月 4 日～ 6 日 10 月 18 日～20 日	平成 29 年度自立相談支援事業従事者養成研修	全社協 灘尾ホール 全社協 中央福祉学院
7 月 7 日	平成 29 年度彩の国あんしんセーフティネット事業 就労支援担当者養成研修	彩の国すこやかプラザ
9 月 25 日	生活困窮者自立支援制度と生活福祉資金貸付制度の連 携に関する研修	埼玉県県民健康センター
10 月 10 日	不登校・ひきこもりに関する講演会	埼玉県川口保健所
10 月 24 日	第 6 回生活困窮者支援ネットワーク協議会	済生会川口総合病院
11 月 28 日	前川地区ケアマネサロン（事業周知）	前川公民館
平成 30 年 1 月 17 日	平成 29 年度生活困窮者自立支援事業受託社協連絡会議	彩の国すこやかプラザ
3 月 13 日	生活困窮者支援ワーキンググループ	済生会川口総合病院

2 7 生活支援体制整備事業

平成 29 年度より川口市から委託を受け、第 1 層生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、生活支援の担い手の発掘・養成、地域資源の把握・開発やネットワークの構築を図った。

(1) 地域におけるネットワークの構築

第 2 層生活支援コーディネーターとの連携により、26 回のネットワーク会議に参加し、ネットワーク構築の支援及び事業周知を行った。

(2) 第 1 層協議体の設置準備

平成 30 年度での第 1 層協議体の設置に向けて、他市の状況調査及び川口市長寿支援課との定期的な打合せを実施した。

(3) 社会的孤立防止のための高齢者の居場所づくり

市内の先駆的な事例となるようエリアを限定したモデル事業として、社会的孤立防止のため社会福祉施設や地域包括支援センター、ボランティア等と連携のもと、高齢者が集えるサロン「おしゃべりC a f e」を5回開催し、延べ34人が参加した。

(4) 生活支援コーディネーターに係る研修への参加

全国社会福祉協議会や埼玉県社会福祉協議会が開催した、生活支援コーディネーターの養成研修や連絡会、研究協議会等へ13回参加した。

(5) 川口市長寿支援課との連携

川口市長寿支援課と協働での事業展開にあたり、担当者打合せを23回、進捗状況の確認と意見交換の場として報告会を2回開催した。

28 収益事業

収益を本会の福祉事業に充当し、地域福祉の充実と増進を図ることを目的に、収益事業を実施した。なお、川口オートレース場内飲料水売店及び食堂売店の運営は平成29年度で廃止した。

(1) 川口オートレース場内において売店の運営をした。

売店区分	店舗等数		収入額(円)
	店舗数(店)	その他(台)	
移動売店	1	—	1,094,500
飲料水売店	3	—	17,034,850
食堂売店	5	—	52,421,480
自動販売機	1	9	18,563,245
合計	10	9	89,114,075

(2) 市内公共施設等における自動販売機の設置

設置場所	設置数(台)	収入額(円)
青木会館屋外	1	34,319
公園	7	37,756
新庁舎建設現場	1	10,236
合計	9	82,311

※青木会館屋外は平成29年12月から、公園及び新庁舎建設現場は平成30年3月から設置。